

ABC協会 2020年度研究会活動の再募集のご案内

～コロナ感染により、新たな生活様式を探る

DX(Digital transformation)からBX(business transformation)へ～

一般社団法人 アドバンスド・ビジネス創造協会

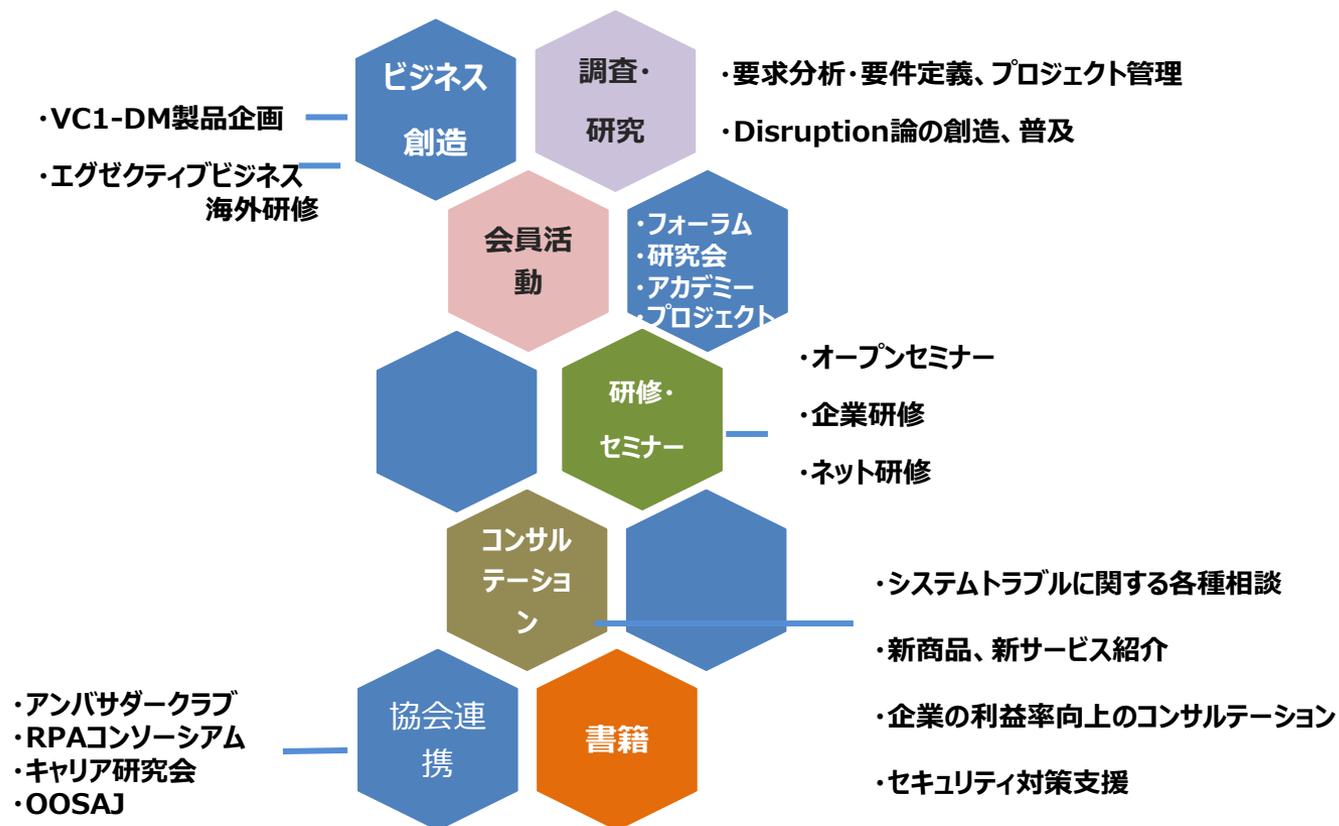
日頃は、ABC協会にいろいろとご支援いただき、厚くお礼申し上げます。
コロナ感染により、3密を避け新たな研究会活動を下記の通り、ご案内をさせていただきます。

2020年度のABC協会の活動

コロナ感染により、在宅勤務、不要不急な外出や出張などの対策をされている企業が多い事を考え、研究会の運用形式を見直しております

今年度は、日本で変化が求められている「破壊的創造」をテーマと、アフターコロナ時代におけるNEW NORMAL に向け未来を創造する活動を推進してまいります。

特に事業の創造、自らの成長、働き方の変革などを中心に活動を行ってまいります。



2020年度の ABC協会のフォーラム・研究会とは

- ・フォーラム さまざまな分野（例えば企画、人材開発、営業、購買、物流）におけるリーダーの方々が企業の枠を超えて集まり、お互いの課題や進むべき方向を自由な立場で意見交換する「場」です。
- ・研究会 テーマを決め、そのテーマを深掘りし議論。会員企業以外にも学術関係者、専門家を加えたチームを編成し、広く意見・知見を求めます。
- ・アカデミー アカデミーは、各界で活躍の講師を招き、講演に続き、講師に参加いただき、参加者の経営課題との関わりを含め意見交換を致します。
- ・（新設）スクール **テーマに沿って会員企業でミッションに向けて頑張っている方々を応援していきます。参加者通しの情報交換、目標に向けたコーチングなど、新たなミッションに対して一緒に考えて行きます**

・会員活動（分科会活動）のお申込み方法

添付別 1 の応募シートにて企業ごとに、シートを添付し、bunkakai@abc-a.jpまでお申込み下さい。
メール受信後、事務局より受領メールの返信を致します。

・応募締切

お申込み納期 2020年6月19日（金）

それ以降も、お申込みはお受けいたしますが、整理の都合上上記でお願いします。

参加メンバーの確定は、4月末日までに、申込責任者、参加者ご本人へご連絡をさせていただきます
参加者多数の場合は、先着順とさせていただきます

・参加費用

参加費用は、応募責任者の方に企業ごとの合計金額で請求書を発行させていただきます。

個別請求を希望の方は、申込フォームにその旨を記入のうえお願いいたします。

ご案内の研究会参加費は、注記がない場合**年間の費用とし全て消費税別で記載**いたしています。

***コロナ対策で、合宿の中止、WEBの運用を検討しており一部会費を変更しております。**

・問い合わせ先

分科会活動に関するご質問、ご連絡は、下記にお願いします。

一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会 事務局長 岩田 好廣

メール：y-iwata@abc-a.jp TEL：03-6277-2055

2020年度 研究会活動一覧

* 下記 アカデミーは昨年度からの継続中のため再募集はございません。ご要望の際にはご連絡ください

| | 研究会名称 | 分類 | 部会長、リーダ、アドバイザー | 募集人員 |
|-------|--|--------------|--|------|
| フォーラム | 自律型成長塾フォーラム (自らも成長する人材育成フォーラム) | 問題感知力・発想法 | 小笠原 勝政様 (株式会社 オカムラ) | 20名 |
| | 女性リーダフォーラム | コミュニケーション | 堀内 麻里子様 (オリックス・システム) 馬場 知子様 (プリチストンソフト) | 20名 |
| 研究会 | エンタープライズ・アジャイル研究会 | 業種業務知識 | 内藤 康生様 (ニッセイ情報テクノロジー) | 30名 |
| | セキュリティ対策研究会 | 業種業務知識 | 内田 昌宏様 | 20名 |
| | ソフトウェア品質研究会 | プロジェクト管理 | 永坂 司様 (東京ガスIネット) | 20名 |
| | 日本企業躍進シナリオの研究会 (Creative Mind Set 研究会) | 問題感知力・発想法 | 小山孔司様 | 15名 |
| |  DXを推進する強い組織の作り方アカデミー (旧名 ポジティブ組織開発研究会) | コミュニケーション | 寺澤 慎祐 様 (英国ウェールズ大学 組織行動論、リーダーシップ 講師) | 15名 |
| スクール | ビジネスデザインスクール 新規 | 日本企業の成長 | 寺澤 慎祐 様 (英国ウェールズ大学 組織行動論、リーダーシップ 講師) | 20名 |
| アカデミー | Forefront Technology アカデミー | 企業力向上のための技術力 | (アドバイザー) 初田 賢司様 (日立製作所) | 20名 |
| | New Business アカデミー | 企業力向上のための技術力 | 北上様 (静岡県立大学) 黒木様 (全日本空輸) | 30名 |
| | 日本型経営革新アカデミー | 日本企業の成長 | 山田専務理事 | 15名 |
| | 基幹システムアカデミー | プロジェクト管理 | 葛綿様 (東京ガス i ネット) 中願寺様 (ANAシステムズ) 東出様 (アサヒビジネスソリューションズ) | 15名 |

ビジネス・デザイン・スクール (WORK中心実践スクール)



NEW

部会長：株式会社サンクイット 代表取締役

寺澤慎祐 氏

英国ウェールズ大学 組織行動論、リーダーシップ 講師
中央大学 国際情報学部 講師
オープンソースソフトウェア協会 理事

スクール活動の概要

・ビジネスデザインスクールは、従来の成功ビジネスモデルや既存のビジネスルールから一旦離れ、壊すことで自企業の真の強みを探り、顧客課題視点で新しいビジネスを創造する人の育成を目指します。
また、一方的に教えるではなく、折角学んだ知識を実利するためのコーチングを行います。

従来のビジネスフレームで正しいと言われていた論理性や理性による意思決定ではなく、直感や感性による意思決定や方向付けの方が有益だというアート思考に共感し、直感や感性を磨きます。

社内に潜在的に存在しているイントレプレナー（社内起業家）の能力の火を既存企業文化によって消さないように、イントレプレナー同士で刺激しあえるコミュニティを形成することを目指します。

イントレプレナーとなる基礎的要件を学ぶ（複数年度で習得）

アート思考、ポジティブ心理学、リーダーシップ、デザイン、マーケティング、交渉術、プレゼンテーション、戦略

参加対象 企業内にいる「変わり者」（ビジネスモデルを再構築を考えている人）
事業責任者や経営者から権限委譲された新規事業開発責任者
事業責任者や経営者

開催形式 ・初回はWEB会議システムのZOOMを活用したセミナー形式で運用。
二回目以降は、参加型での運用を行います。
*ただし、感染状況によりやもなく変更になる場合があります

参加費用 ・A B C協会の会員企業 90,000円
・会員企業以外 100,000円

開催日程 全6回 15:00~18:00（7月~3月） 第一回は、7月上旬開催予定
合宿テーマ「創造的破壊によるビジネスモデル検討会」開催予定 最低催行人数 6名 *費用は別途

ABC協会 お勧め
事前の知識は不要です
変化させたい気持ちで・！

ビジネス・デザイン・スクール の内容（予定）

※毎回3時間のワークショップ形式となっています。

基本的には全ての回が90分間2セットの設計になっており、休憩を取ります

| | セッション | 内容 |
|-----|-------|--|
| 第1回 | 1 | 本講座のイントロダクション(目的、狙い、概要、進め方) |
| | 2 | 生産性①: 生産性を向上させるための4つのアプローチ |
| 第2回 | 3 | 生産性②: 生産性を向上させるためのリーダーシップ |
| | 4 | ポジティブ心理学と強みの効用 |
| 第3回 | 5 | ストレングス思考①: ポジティブアプローチで個人の強みを探る。 |
| | 6 | ストレングス思考②: ポジティブアプローチとポジショニング戦略で 会社の強みを探る |
| 第4回 | 7 | アート思考①: 論理と理性の限界 |
| | 8 | アート思考②: アートとビジネスの交差点(リベラルアーツ) |
| 第5回 | 9 | アート思考とストレングス思考①: パラダイムを変える組織の作り方 |
| | 10 | アート思考とストレングス思考②: パラダイムを変えるリーダーの在り方 |
| 第6回 | 11 | 感性や直感を磨く思考方法 |
| | 12 | 本講座のまとめ |

ビジネス・デザイン・スクール とは

ビジネスクリエイティブではなくビジネスデザインである理由

DESIGN= DE+SIGN

DE : 「離れる」や「下」という意味。離れることから「否定」も意味する

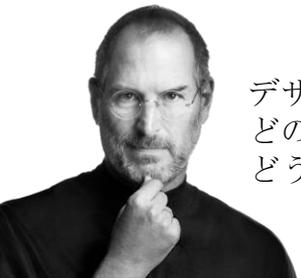
SIGN : 符号、記号、信号、合図、手まね、身ぶり、標識、標示、掲示、看板

アート思考とストレングス思考

ゼロから作り出された技術や製品やビジネスモデルが注目されているが、組み合わせもイノベーションの重要なやり方であり世の中の成功はここに 있습니다。日本は既存の技術や商品を組み合わせたり、サービスや製品プロセスの改善をすることが得意だと言えます。

つまり、日本人の強みは「全く新しいものを作り出す創造性」ではなく「既存のものをよりよくなる拡張性」であると考えます（**ストレングス思考**）。

不得意な創造性をなんとかして頑張らしましょう！というのは時間がかかります。ストレングス思考とは程遠く効果的であるとは言えません。やはり、日本企業の強みにフォーカスすることが重要です。そのためには、ビジネスをデザインすること（現状を否定して作り替えたりすること）であり、その中心的な考え方は**アート思考**だと考えます。



デザインとは、単にどのように見えるか、
どのように感じるかということではない。
どう機能するかだ。

雨が降れば傘をさせばよい

必ずしも全く新しいものを生み出す必要はなく、
社会が必要としているものを提供すれば良い



自律型成長塾フォーラム (旧名称 自らも成長する人材育成フォーラム)

部会長 株式会社オカムラ 情報システム部 システム基盤担当 次長 小笠原 勝政 氏
アドバイザー 合同会社Be Yourself 代表 清水良胤 氏

元フォーチュン誌日本代表を経て、6年前に研修講師として独立。「人と組織を元気にする」をモットーにポジティブ心理学をベースにしたキャリア、コミュニケーション、目標管理等の人財研修やAIをベースにした組織開発に注力。

分科会活動の概要

アフターコロナ時代に新しい生活様式に合わせ、新たなコミュニケーション方法としてZOOMを活用したWEBフォーラムを開催いたします。WEBならではの場所を選ばない新たなコミュニケーションに挑戦してまいります。新しい生活様式を考える上で、自らを知る事が重要です。自分が何を目指し、自分の魅力や強みを活かして仕事とキャリアの再構築をおこない、人生の意味を見出します。忙しい方、遠隔地の皆様にも参加できるように、WEB開催を行います。

参加対象 ・部下の自律に関心のある方
・企業内のミドル層で自らが成長したい方

開催形式 ・WEB会議システムのZOOMを活用したセミナー形式
* 自己の強みWeb診断付き

参加費用 ・A B C協会の会員企業 25,000円
・会員企業以外 30,000円

開催日程 隔月 全3回 各回3時間程度。15:00~18:00
(ワークを含む)

取り上げるテーマ

- 7月21日 生きる型を学ぶ
- 9月11日 自分の得意な強みを知り自信をもって生きる
- 11月13日 自分の大切にしている価値観を知る
- 1月22日 夢中になるその根源を探る
- 3月19日 人生の木

女性リーダフォーラム(～多様性時代、これから求められるのは女性リーダ～)

部会長 オリックス・システム株式会社 **総務部長** 堀内麻理子 氏
副部会長 ブリヂストンソフトウェア株式会社 **SCMシステム開発第2部長** 馬場 知子 氏
アドバイザー キャリア研究会 **会長** 野木秀子氏 神奈川工科大学客員教授、神奈川県情報サービス産業協会・顧問
キャリア研究会副会長 小林千早都氏

分科会活動の概要

ネットが普及している社会において、様々な価値観を持った社員が、共に生き生きと働ける職場とはどんな職場でしょうか？ 過去の経験を押し付けるのではなく、共感（インクルージョン）から始まる、人を育てる社会だと考えています。アフターコロナで抱えている問題を、みんなで共有して、みんなで考えませんか……。キャリア研究会との連携で開催を予定しています。

参加対象 女性リーダまたは今後リーダを目指している方
女性リーダに関して一緒に検討して頂ける方

開催形式 ・WEB会議システムのZOOMを活用したセミナー形式
下期は、状況を判断しながら参加型の開催形式を検討予定

参加費用 ABC協会会員企業 18,000円 ABC協会会員オープン参加 3,500円（一回）
会員企業外 24,000円 会員外オープン参加 4,500円（一回）
(ZOOM開催時の都度参加の皆様には、請求書を発行します)

開催日程 隔月 全5回 午前 10:00～12:00
上期は、WEB主体の運営となります。(ZOOMを活用して参加頂きます)
* 時短の方にも参加して頂きたいため、時間帯を考慮の上開催

取り上げるテーマ（予定）

7月 ハッピー・ストレス（レジリエス） 9月 自分を知って仕事効率がアップする秘訣、
10月 コミュニケーション・相談を受ける力 11月 新しい時代のリーダーシップとマネジメント
1月 女性ならではの強みを生かしたプレゼンテーション（数値で語る表現方法）
3月 女性目線での新しい生活様式を考える

エンタープライズ・アジャイル研究会

| | | |
|--------|--------------------|--------|
| 部会長 | ニッセイ情報テクノロジー（株） | 内藤康生 様 |
| 副部会長 | （株）NTTデータ | 人選中 |
| アドバイザー | （株）テクノジックアート 代表取締役 | 長瀬嘉秀 様 |

分科会活動の概要

当研究会は、過去4年に亘り開催し、20名以上の方々にご参加いただいています。昨年度までは、各社のアジャイル開発への取り組み、課題等について、情報共有と対応の検討を行いました。今年度は、これらの課題をさらに深掘りし、具体的にいかに解消していくかを議論したいと考えています。本会を進めるにあたり、この分野でご活躍の長瀬嘉秀様にアドバイザーをお願いし、ご指導いただきます。

参加対象

- ・基幹系システムの開発の経験者
- ・マネジャー、SE

参加費用

- ・ABC協会の会員企業 18,000円
- ・会員企業以外 30,000円

開催方法 昨年度までは、集合で開催してきましたが、新型コロナウイルスの件があり、状況を見て「ネット開催」の時と、「集合開催」の時があります。「ネット開催」は、Zoomを使った開催となります。

日程 7月以降の奇数月の第3、又は第4水曜日 15:00～17:30
7/22(水)、9/16(水)、11/25(水)、1/27(水)、3/17(水) 15:00～17:30

取り上げるテーマ

- ・アジャイル開発における下記の課題を深掘りし、具体的にいかに解消していくかを議論したいと考えています。
アジャイルに向けた案件・社内基準（案件の特性）、品質管理・品質保証、
アジャイル開発に向けたシステムの構造、標準・ルール・ガイドライン、アジャイル開発のための人材育成・教育
- ・また、大規模アジャイル開発や遠隔地（オフショア等）と連携しての開発についても、取り上げたいと考えています。

セキュリティ対策研究会

部会長 株式会社 ラック 常務理事 内田昌宏 氏
アドバイザー ストーンビートセキュリティ(株) セキュリティ技術部 部長 大島耕二 氏
株式会社 イフェクト 顧問 野口 勝 氏

分科会活動の概要

不正アクセスなどのサイバー攻撃は、より高度に、巧妙になってきており、ここまでやれば良い、という目安が分かりません。一方、働き方改革の取り組みが進み、在宅勤務やサテライトオフィスの活用など私たちのワークスタイルもどんどん変わってきております。この様な環境変化を踏まえ、セキュリティに関する取り組みも、『守る』だけでなく、変化を『支える』取り組みも必要になるのではないのでしょうか？

そこで本研究会では、どの様にして会社の変革をサポートしてゆけるのか、情報セキュリティ対策の観点から議論をしてゆきたく考えております。

デジタル化、デジタル活用の流れはますます勢いを増してゆきます。そこにおいてはこれまでの様に「囲って守る」という考え方では無い取り組み方が求められるのではないのでしょうか？この様な観点からの議論を全6回の研究会にて行ってゆきます。必ずしも“答え”が得られる訳では無いかも知れません。しかし早く取り組み始めなくては、今の変革の流れから取り残されてしまいます。セキュリティ関係のアドバイザーにも入っていただき、どう自社の変革を進めてゆくの、それを踏まえてどういう対策を進めてゆけば良いのか、ご参加の皆さんと考えてゆきます。

そしてセキュリティ対応だけでなく、会社の変革を進める“主人公”に育って頂くことを目指します。

参加対象 企業・公共団体で、セキュリティ担当として活動を企画してゆくことが期待されている方
グループとしての体制構築を検討されている方も歓迎

参加費用 ・A B C協会の会員企業 20,000円
・会員企業以外 40,000円

開催日程 隔月 全6回 15:00～18:00 *第1回を6月18日(木)開催の予定です

取り上げるテーマ

世の中の変化の整理とそのセキュリティ観点からの影響について考える

リスク管理体制の実態；CSIRTの求めるポイントはどこにあるのか理解する

企業の抱える情報資産とは何か？

変革を進めて行く上で、何を決め、何を実行してゆけば良いか考える、具体的な施策を検討してみる

全体を通しての振り返り、まとめ

ソフトウェア品質研究会

部会長 東京ガス i ネット(株) 企画部 品質・プロジェクト外監理グループ長 永坂 司 氏
アドバイザー 株式会社エス・キュー・シー 代表取締役 社長 倉田克徳 氏

分科会活動の概要

システムの利用形態（SOR、SOE）によってテストの位置づけが違う整理を行った。またシステム開発のプロセス効率化でテストプロセス改善をうまく進める勘所など検討をしてきた。

今年度はモノ的なシステム品質（QCD）から、システムは稼働してから価値が生まれるコト的なサービスの考え方に変えるとシステムに求められる品質の考え方も変わる。今年度は、システムのサービス品質を検討する。

- ・機能品質では検証出来ないAI時代の品質とは
- ・クラウド TESTING に関して調査・検討を進めていきます

参加対象

- ・業務改革担当者
- ・情報システム部門の担当
- ・システムのサービス品質を考えてみたい方

参加費用

- ・A B C 協会の会員企業 30,000円
- ・会員企業以外 40,000円

開催形式

- ・WEB会議システムのZOOMを活用したセミナー形式で運用。
地方から気楽に参加できるようにしました

開催日程 隔月 全5回 15:00～18:00
当面はWEB開催 7月 2時間 16:00～18:00
WEB懇親会あり、状況を見て参加型開催を検討

取り上げるテーマ

DX時代のソフトウェアテストとは、アジャイル開発の品質戦略、DevOps開発の事例研究、クラウド TESTING の動向、テストツールを実際に使って検証する

DXを推進する強い組織の作り方アカデミー



注目

部会長：株式会社サンクイット 代表取締役

寺澤慎祐 氏

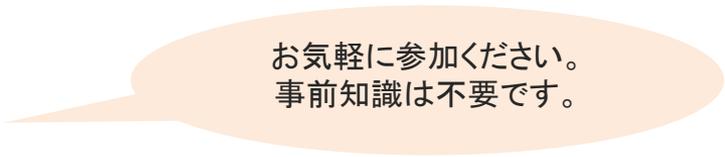
英国ウェールズ大学 組織行動論、リーダーシップ 講師
中央大学 国際情報学部 講師
オープンソースソフトウェア協会 理事

分科会活動の概要

業務やビジネスをIT化、電子化、システム化、デジタル化、クラウド化、RPA化することはDXではありません。いくらAIやIoTやビッグデータを活用してもトランスフォーム（変革）しなければ、DXとは呼べません。変革するということは改善とは違うので、従来業務や既存ビジネスが全く違う形態になる必要があります。RPAを使って生産性が向上した、IoTを使って可視化できた、AIを使って予測が簡単になったというのは改善されて効率化しただけの話です。改善による効率化はもちろん大切ですが、DXは全く違う形態に変革する必要があるため、技術は本質的な要素ではありません。必要なのは、変革する方法であり、変革を受け入れる文化であり、変革をリードする人材であり、変革を求めて許容する経営者です。この研究会では、技術的な視点だけに限らず、人材組織や文化という本質に切り込んで、企業のDXについて参加者と共に検討します。

参加対象

- ・経営企画の責任者および担当者
- ・業務改革の責任者および担当者
- ・情報システム部門の責任者および担当者
- ・新規事業開発部門の責任者および担当者
- ・DXやCXの責任者および担当者



お気軽に参加ください。
事前知識は不要です。

開催形式

- ・WEB会議システムのZOOMを活用したセミナー形式で運用。
* 状況を見て、下期に参加型のセミナーを開催を検討します。

参加費用

- ・A B C協会の会員企業 50,000円
- ・会員企業以外 60,000円

開催日程

隔月 全6回 15:00～18:00 第一回は、7月上旬開催予定

DXを推進する強い組織の作り方アカデミー 内容

※毎回3時間のワークショップとなっています。
基本的には全ての回が90分間2セットの設計になっています。

| 回数 | セッション | 内容 |
|-----|-------|---|
| 第1回 | 1 | 本講座のイントロダクション(目的、狙い、概要、進め方) |
| | 2 | オーセンティックリーダーシップ |
| 第2回 | 3 | ポジティブ心理学とストレングス思考で強みを探る① |
| | 4 | ポジティブ心理学とストレングス思考で強みを探る② |
| 第3回 | 5 | アプリシエイティブリーダーシップ①: インクワイアリー、イルミネーション |
| | 6 | アプリシエイティブリーダーシップ②: インクルージョン、インスパイア、インテグレーション |
| 第4回 | 7 | リーダーとしてのやり方を探る①: 1on1ミーティング方法 |
| | 8 | リーダーとしてのやり方を探る②: 効果的なコミュニケーション方法 |
| 第5回 | 9 | 組織の在り方を探求する |
| | 10 | 組織文化を変える・理想的な組織を創る |
| 第6回 | 11 | なぜ、人と組織は変わらないのか? |
| | 12 | 本講座のまとめ |